

令和7年度普及指導活動の外部評価の結果について

令和7年度において、「農業普及事業における普及指導活動の外部評価実施要領」に基づき、普及指導体制及び新川農林振興センター並びに富山農林振興センターを対象に行った農業普及指導活動の外部評価の結果について、下記のとおり公表します。

1 外部評価会議の開催

対象所属（開催地）	開催月日
新川農林振興センター（黒部市荻生 3200）	令和7年11月26日（水）
富山農林振興センター（富山市諏訪川原 1-3-22）	令和7年11月10日（月）

2 外部評価委員

氏名	役職等
金 奉吉	富山大学経済学部 名誉教授
松村 昭則	税理士法人富山合同会計 税理士
橋本 喜洋	富山県農業法人協会 会長
寺家 久雄	富山県野菜出荷組合協議会 会長
安井 辰仁	富山県青年農業者協議会 会長

3 対象課題

- 対象所属の全ての濃密指導計画課題について評価を実施した。
- そのうち対象所属ごとに以下の2課題について詳細な報告を行った。

ア 新川農林振興センター

課題 No.	課題名	担当
1	地域特性を活かした活力ある農山村の実現	企画振興課
2	新規就農者の確保・育成	担い手支援課 経営支援班

イ 富山農林振興センター

課題 No.	課題名	担当
1	新規就農者の育成・確保と担い手経営体の発展支援	担い手支援課 経営支援班
2	水橋地区の大区画ほ場での園芸作物の生産拡大	担い手支援課 園芸振興班

- その他、県の普及指導体制及び人材育成等について評価を行った。

4 評価委員の意見及び対応措置について

- (1) 普及指導体制及び新川農林振興センター並びに富山農林振興センターで詳細な報告を行った課題への意見及び対応措置については、別紙のとおり。
- (2) その他の濃密指導計画課題における主な意見としては、以下のとおりであった。

ア 新川農林振興センター

課題名	主な意見
意欲ある園芸担い手の育成と経営強化	園芸担い手の育成と経営強化に対する取組みは大いに評価できる。また、スマート農業等新技術の導入推進に対する支援も、今後の収益・原価面において極めて有意義であり評価できる。
地域営農体制の確立と担い手の経営基盤強化	農業従事者の高齢化と担い手不足は全国的にも危惧されているところ。地域計画等に基づく担い手の農地集積等の取組みは、高く評価され、同時に継続的な支援が必要である。

イ 富山農林振興センター

課題名	主な意見
中山間地域の特性を活かした地域活性化	鳥獣害対策は地域ぐるみでの対策が必要。知識、技術を周知して、個人個人で対策できるように指導されているのは評価できる。
果樹産地の活性化	未来カレッジの新規就農者の育成と後継者に悩む産地の取り組みがマッチした好例。地域外からの新規就農者が梨栽培に取り組むことが既存の梨経営者の後継者が刺激を受け、跡を継ぐ意思を示すなど与えた影響は大きい。各果樹産地もよい例として参考にしたらどうか。
地域農業を担う経営体の育成と農産物の安定生産の推進	地域農業の担い手は大きな法人だけでなく、個人農家も重要。地域の圃場を維持管理するには無くてはならない存在である。個人農家への取組も考えてほしい。猛暑など異常気象に対する対策も急務と考える。大区画圃場のスマート農業だけでなく、現在ある圃場でのスマート農業の提案、実証を望む。